

商工会議所は、明治 11 (1878) 年に、商工業者の意見を集約し、政府に建議要望などを行う機関として初めて東京に創設され、以後、現在までに全国 514 カ所に設立されている、あらゆる業種・業態の商工業者からなる「地域総合経済団体」です。



The Chamber of Commerce and Industry News KAWARABAN PLUS

商工会議所二ニュース

かわら版 **PLUS**

No. 43

商工会議所数 514

総会員数 125 万会員

日本商工会議所

合同訪中団

李首相と会談 日中関係改善後押し



李首相と握手する三村会頭（左）

日本商工会議所は11月1～5日、日中経済協会、日本経済団体連合会と合同で初めて訪中団を派遣。過去最大規模となる総勢220人が参加し、経済関係改善へ中国政府首脳らと

意見交換を行った。

4日には、北京の人民大会堂で李克強首相と会談。李首相は、来年から始まる「第13次5カ年計画」について、年平均経済成長率6.5%以上を維持する考えを表明した。日商の三村明夫会頭は、「中小企業が地域経済を発展させ、日本経済全体の発展を支えている。中国の中小企業とも連携していきたい」と中国との協力関係強化に期待を寄せた。日本の経済界代表が中国の首相と会談するのは2009年の温家宝首相（当時）以来6年ぶり。



李首相と訪中団

森山農林水産大臣との懇談会

農商工連携で協力 三村会頭「成長促進に期待」

日本商工会議所は11月19日、森山裕農林水産大臣との懇談会を都内で開催した。日商からは、三村明夫会頭ら12人が出席。農水省からは森山大臣ら8人が出席した。日商と農水省との懇談会は今回が初めて。

三村会頭は冒頭のあいさつで、「農林水産業は観光とともに地方創生の柱である」と述べ、商工業との連携強化による国際競争力強化に期待を寄せた。

森山大臣は、マーケットインの発想による攻めの農政改革を推進していく考えを表明。世界から高い評価を得ている日本の農林水産物のさらなる輸出促進と、日本食文化の発信の強化に取り組む意向を示した。また、農林

漁業者と食品製造業者との連携強化による6次産業化の推進に向けた商工会議所との協力に期待を寄せた。



あいさつする森山大臣（右）と三村会頭ら日商幹部（左）

全国商工会議所 観光振興大会2015 in しずおか

広域連携で地方創生を



あいさつする三村会頭

日本商工会議所は11月12～14日、静岡商工会議所、静岡県商工会議所連合会とともに、静岡市で「全国商工会議所観光振興大会2015 in しずおか」を開催した。大会には、全国から商工会議所幹部ら約1500人が参加し、「歴史・文化資源の『再発見』と『学び』による観光振興～家康公と世界文化遺産『富士山』に学ぶ」をテーマに、地域経済の再生と観光をどのようにつなげるかを議論した。

日本Y E G 第33回全国会長 研修会まえばし会議

全国から1700人が集結



あいさつする日本Y E Gの伴靖会長

日本商工会議所青年部（日本Y E G）11月12～14日、「第33回全国会長研修会まえばし会議」を群馬県前橋市で開催した。研修会には約1700人が出席。会員総会などを開催したほか、4つ分科会に分かれて、まちづくりの現場視察や現状抱えている課題について活発な意見交換を行った。また、眼鏡チェーン「J I N S」を展開している株式会社ジェイアイエヌの田中仁社長が基調講演を行った。

日本商工会議所から最新のビジネス情報をお届け

会議所ニュース



日本商工会議所が月3回発行する新聞。日商や全国各地の商工会議所の政策提言や事業活動をはじめ、ビジネスに役立つ情報が満載です。中小企業や地域が直面しているテーマをタイムリーに捉え、商工会議所独自の視点でビジネスの現状を分かりやすく紹介しています。

月3回発行（1日、11日、21日）
1部136円 年間購読料4,320円(送料・税込)

月刊石垣



日本商工会議所発行の月刊ビジネス情報誌。経営や地域活性化のヒントになる先進事例を紹介する特集をはじめ、全国の魅力的なまちを取り上げる「まちの解体新書」、話題の著名人の素顔に触れる「あの人を訪ねたい」など、厳選の企画・連載が目白押しです。

毎月10日発行
1部515円 年間購読料5,500円(送料・税込)

ご購入のお申し込みは日本商工会議所広報部（TEL:03-3283-7901）まで

お問い合わせ先

商工会議所は、地域の商工業者の応援団です。

平成27年12月発行